

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【公開番号】特開2012-175384(P2012-175384A)

【公開日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-036

【出願番号】特願2011-35141(P2011-35141)

【国際特許分類】

H 04 R 1/04 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筒状のマイクロフォン筐体と、
基部と、前記基部に支持されるピンとを有するピンプラグと、
前記ピンプラグを内部に収納して保持し、前記マイクロフォン筐体の内部に収納されて
保持され、金属板が曲げられて筒形状とされることで形成されるピンプラグホルダと
を具備するマイクロフォン。

【請求項2】

請求項1に記載のマイクロフォンであって、
前記ピンプラグホルダは、前記ピンプラグホルダの外周面から外方に突出し、前記マイ
クロフォン筐体の内周面と当接する突起部を有する
マイクロフォン。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のマイクロフォンであって、
前記金属板は、前記金属板が曲げられる方向に直行する方向に第1の縁部及び第2の縁
部を有し、
前記ピンプラグホルダは、前記金属板が曲げられて筒形状とされるときに前記第1の縁
部と前記第2の縁部との間に間隔が開けられることで形成され、プラグソケットを前記ピ
ンプラグに案内するガイド穴を有する
マイクロフォン。

【請求項4】

基部と、前記基部に支持されるピンとを有するピンプラグと、
前記ピンプラグを内部に収納して保持し、筒状のマイクロフォン筐体の内部に収納され
て保持され、金属板が曲げられて筒形状とされることで形成されるピンプラグホルダと
を具備するコネクタ部。

【請求項5】

基部と、前記基部に支持されるピンとを有するピンプラグを内部に収納して保持し、筒
状のマイクロフォン筐体の内部に収納されて保持され、金属板が曲げられて筒形状とされ
ることで形成されるピンプラグホルダ本体
を具備するピンプラグホルダ。

【請求項 6】

金属板を用意し、

基部と、前記基部に支持されるピンとを有するピンプラグを内部に収納して保持し、筒状のマイクロフォン筐体の内部に収納されるピンプラグホルダを、前記金属板を曲げて筒形状とすることで形成する

ピンプラグホルダの製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のピンプラグホルダの製造方法であって、さらに、

前記金属板の一方の面側から突出する突起部を前記金属板に形成する

ピンプラグホルダの製造方法。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載のピンプラグホルダの製造方法であって、

前記金属板は、前記金属板が曲げられる方向に直行する方向に第 1 の縁部及び第 2 の縁部を有し、

前記金属板を曲げてピンプラグホルダを形成するステップは、前記金属板が曲げられて筒形状とされるときに、前記第 1 の縁部と前記第 2 の縁部との間に間隔を開ける

ピンプラグホルダの製造方法。